

「愛・地球博」の成果・評価について

(BIEが目指すテーマ重視の国際博覧会との整合性)



2005年9月22日

(財)2005年日本国際博覧会協会



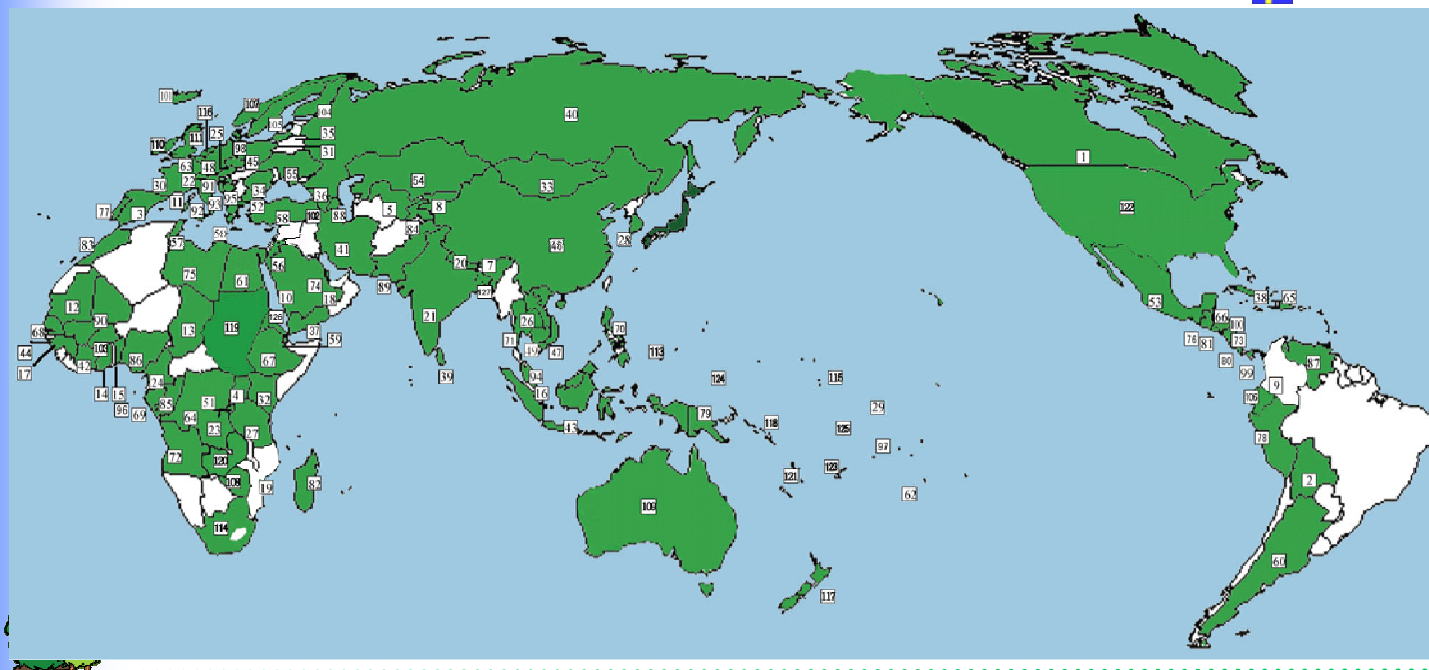
目 次

1. 多数の参加者
2. 国際機関の参加
3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人
4. 成功した国際コミュニケーション
5. 褒章の復活；自然の叡智賞
6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム



1. 多数の公式参加者

1 カナダ	16 シンガポール共和国	31 リトアニア共和国	46 中華人民共和国	61 エジプト・アラブ共和国	76 グアテマラ共和国	91 オーストリア共和国	106 エクアドル共和国	121 バヌアツ共和国
2 ボリビア共和国	17 ギニア共和国	32 ケニア共和国	47 ベトナム社会主義共和国	62 トンガ王国	77 ポルトガル共和国	92 イタリア共和国	107 ノルウェー王国	122 アメリカ合衆国
3 スペイン	18 ラオス人民民主共和国	33 モンゴル国	48 ドイツ連邦共和国	63 ベルギー王国	78 ベルギー共和国	93 クロアチア共和国	108 ジンバブエ共和国	123 フィジー諸島共和国
4 ウガンダ共和国	19 スワジランド王国	34 ルーマニア	49 カンボジア王国	64 コンゴ民主共和国	79 ババニューギニア	94 マレーシア	109 オーストラリア連邦	124 ミクロネシア連邦
5 ウズベキスタン共和国	20 ネパール王国	35 モリタニア共和国	50 ギリシャ共和国	65 ドミニカ共和国	80 コスタリカ共和国	95 ボスニア・ヘルツェゴビナ	110 アイルランド	125 ツバル
6 ラヴァニア共和国	21 インド	36 グルジア	51 ルワンダ共和国	66 ベリーズ	81 エルサルバドル共和国	96 サントメ・プリンシペ民主共和国	111 グレートブリテン・北部アイルランド連合王国	126 エリトリア国
7 ブータン王国	22 スイス連邦	37 イエメン共和国	52 ブルガリア共和国	67 エチオピア連邦民主共和国	82 マダガスカル共和国	97 サモア独立国	112 ブルネイ・ダルサラーム国	127 バングラデシュ人民共和国
8 キルギス共和国	23 ブルンジ共和国	38 キューバ共和国	53 メキシコ合衆国	68 セネガル共和国	83 モロッコ王国	98 デンマーク王国	113 パラオ共和国	128 日本国
9 スロバキア共和国	24 カメルーン共和国	39 スリランカ民主社会主義共和国	54 カザフスタン	69 ガボン共和国	84 タジキスタン共和国	99 パナマ共和国		
10 サウジアラビア王国	25 チェコ共和国	40 ロシア連邦	55 ウクライナ	70 フィリピン共和国	85 コンゴ共和国	100 ホンジュラス共和国	114 南アフリカ共和国	
11 モリタニア共和国	26 ラオス人民民主共和国	41 イラン・イスラム共和国	56 ヨルダン・ハシミテ王国	71 タイ王国	86 ナイジェリア連邦共和国	101 アイスランド共和国	115 マーシャル諸島共和国	
12 モリタニア・イスラム共和国	27 タンザニア連合共和国	42 コートジボワール共和国	57 チュニジア共和国	72 アンゴラ共和国	87 ベネズエラ・ボリバル共和国	102 アルメニア共和国	116 オランダ王国	
13 チャド共和国	28 大韓民国	43 インドネシア共和国	58 トルコ共和国	73 ニカラグア共和国	88 アゼルバイジャン共和国	103 ブルキナファソ	117 ニュージーランド	
14 ガーナ共和国	29 キリバス共和国	44 ギンビラ共和国	59 ジブチ共和国	74 カタール国	89 パキスタン・イスラム共和国	104 フィンランド共和国	118 ソロモン諸島	
15 ベナン共和国	30 フランス共和国	45 ポーランド共和国	60 アルゼンチン共和国	75 社会主義人バリア・アラブ国	90 マリ共和国	105 スウェーデン王国	119 スーダン共和国	
							120 ザンビア共和国	



現在までの参加表明国際機関



国際連合及び関係機関



国際熱帯木材機関



経済開発機構



国際赤十字・赤新月運動

2. 国際機関の参加



国際連合および関係機関



国際赤十字・赤新月運動



経済開発機構



国際熱帯木材機関



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

【愛・地球博を訪問した外国要人件数】

クラス	件数
首相級以上	48件
閣僚級	195件
上記以外	268件



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

- アンゴラ ディアス・ドス・サントス首相(9月6日)
- タイ タクシン首相(8月31日)
- ミクロネシア連邦 キリオン副大統領(8月22日)
- コスタリカ パACHEコ大統領(8月19日)
- グアテマラ ベルシェ大統領(8月19日)
- ホンジュラス マドゥーロ大統領(8月19日)
- パキスタン アジーズ首相(8月11日)
- ウクライナ ユーシチェンコ大統領(7月22日)
- アイスランド アウスグリムソン首相(7月15日)



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

- ソロモン諸島 ケマケザ首相(7月13日)
- ガボン ミヤク副首相(7月12日)
- パラオ レメンゲサウ大統領(7月8日)
- マーシャル諸島 ノート大統領(7月8日)
- ネパール パラス皇太子同妃両殿下(7月7日)
- リトアニア ブラザウスカス首相(7月6日)
- チェコ パロウベク首相(6月24日)
- チュニジア ガンヌーシ首相(6月23日)
- フィジー諸島 ガラセ首相(6月22日)
- カザフスタン アフメトフ首相(6月15日)



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

- ベルギー フィリップ皇太子殿下(6月14日)
- アルメニア マルガリャン首相(6月7日)
- カタール ハマド首長(6月7日)
- スペイン フィリペ皇太子殿下(6月5日)
- ニュージーランド クラーク首相(6月3日)
- ルーマニア バセスク大統領(6月1日)
- インドネシア ユドヨノ大統領(5月31日)
- マダガスカル ラヴァルマナナ大統領(5月30日)



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

- ポルトガル サンパイオ大統領(5月24日)
- 中国 呉儀副総理(5月19日)
- フィンランド ヴァンハネン首相(5月12日)
- 韓国 金元基(キム・ウォンギ)国会議長(5月11日)
- カンボジア フン・セン首相(5月10日)
- ミクロネシア ウルセマル大統領(4月29日)
- 英 ヨーク公 アンドリュー王子殿下(4月22日)
- 豪 ハワード首相(4月21日)
- デンマーク フレデリック皇太子同妃両殿下(4月20日)



3. 愛・地球博を訪問した主な海外要人

- オランダ アレキサンダー皇太子同妃両殿下(4月19日)
- スイス シュミート大統領(4月15日)
- ノルウェー ホーコン皇太子殿下(4月11日)
- スウェーデン ヴィクトリア皇太王女殿下(4月6日)
- 独 ケーラー大統領(4月6日)
- 仏 シラク大統領(3月27日)
- ケニア マータイ副環境相・ノーベル平和賞受賞者(3月26日)



4. 成功した国際コミュニケーション

開会後から現在までに60ヶ国、約250メディア、約1200人の海外プレスが来場。

1. アジア／オセアニア：

(中国)人民日報、東方早報、新民晩報、新聞晩報、文匯報、中国青年報、南方日報、北京青年報、新華社、CCTV People's Daily ,

(韓国) 朝鮮日報、東亜日報、中央日報、ソウル新聞、韓国経済新聞、ソウル経済新聞、E daily、マネートゥデイ、第一経済新聞、毎日経済新聞、Korean Times、国民日報、京郷新聞、Financial News、仁川日報、韓国日報、明日新聞、文化日報、貿易日報、Travel Journal Korea、韓国経済ビジネス・ウィークリー、聯合ニュース、ニュース・ワイヤー、KBS ,

(台湾)中国時報、自由時報、聯合報、中央通信社

(その他) The Nation, Bangkok Post, Matichon (タイ) , The Straits Times (シンガポール) ,

Channel 7.&9 ,MELBOURNE ATV10 State Television、The Australian、Daily Telegraph、Sunday Telegraph , Herald Sun、Sunday Herald、Sydney Morning Herald、The Age (オーストラリア) , Tashikent Pravda (ウズベキスタン) , Vientiane Times (ラオス) 、Israele Yedish Achronot (イスラエル) 、Borneo Bulletin (ブルネイ) 、Indopos (インドネシア) 、Gulf Times、The Peninsula、Al-Sharq、Al-Watan (カタール) 、ジウムクーリヤ、Ai-Thawara、AL-RAJA AL-AAM (イエメン) 、Solomon Star (ソロモン) 、National (パプアニューギニア) 、等



4. 成功した国際コミュニケーション

2. ヨーロッパ:

(フランス) AFP, Le Monde, Les Echos, Le Figaro, L'Internaute Aetualite, Le Soir Magazine, Quotidien Paris

(イギリス) Financial Times, Economist, BBC

(ドイツ) Die Zeit, Frankfurter Allgemeine Zeitung, Die Welt, Handelsblatt, Suddeutsche Zeitung, Financial Times Deutschland, Hannoversche Allgemeine, Munchner Merkur, Neue Westfalische, Der Tagesspiegel, Die Tageszeitung, Berliner Zeitung, Frankfurter Rundschau, Kolnische Rundschau, Kolner Stadt-Anzeiger, Express Koln, Badisches Tagblatt, Markische Oderzeitung, Wilhelmshavener Zeitung, VDI-Nachrichten, Wirtschaftswoche ARD TV

(イタリア) La Republica, Rivista, Il Gazzettino, La Stampa, L'Eco di Bergamo, Milano, Prealpina, Nord Ovest, Giornale di Sicilia, Gazzetta di Reggio, Il Tirreno, Corriere del Veneto, La Repubblica, L'Arena di Verona, Centro Nord, Quotidiano, Il Messaggero, La Sicilia, Corriere Della Sera, La Nazione, Secolo d'Italia, Il Tempo, Il Sole 24 Ore, Capital, Quotidiano Nazionale, Il Giornale dell' Umbria, Spacchio, La Provincia, La Gazzetta Economia, Il Tempo, La Nuova, L'Arena, Il Mattino, ANSA,



4. 成功した国際コミュニケーション

2. ヨーロッパ:

(スペイン) EL Pais, TVE1 , El Periodico de Catalunya, El Mundo, Hoy de Extremadura, El Periodico de Aragon, Expansion, La Razon, La Vanguardia, El Periodico de Barcelona, El Correo de Andalucia, ABC Barcelona, Sur Malaga, Heraldo de Aragon Zaragoza, Que! Barrcelona, Que! Madrid, El Diario Vasco, La Manana Diario de Ponent, El Correo Espanol, El Ideal Gallego, Las Provincias, El Comercio, El Diario Montanes, La Rioja, La Tribuna de Albacete, El Correo Espanol el Pueblo Vasco, Diario de Navarra, Diario de Sevilla, Diario Palentino, Supertele, Cordoba, Diario de Avisos, Atlantico Diario, Diario de Burgos, Diario de Cadiz, Diario del Altoaragon, El Adelantado de Segovia, El Adelanto de Salamanca, El Dia de Cuenca, El Dia de Toledo, La Gaceta Regional de Salamanca, La Tribuna de Ciudad Real, La Verdad de Albacete, La Verdad de Alicante, La Voz de Asturias, La Vos de Aviles, Diario de Cadiz, Diario de Jerez, Elle, La Vanguardia, TVE1



4. 成功した国際コミュニケーション

2. ヨーロッパ:

(ルーマニア) ZIUA daily newspaper, "Adevarul" daily newspaper, "Cotidianul" daily newspaper,
"Jurnalul National" daily newspaper, "Evenimentul Zilei" daily newspaper, "Romania Libera" daily newspaper,
"Rompres" news agency, Mediafax news agency Rompress, Evenimentul Zilei

(その他) ORF (オーストリア), Itar-TASS (ロシア), Le Soir Magazine, La Libre Belgique (ベルギー),
Mlada Fornta Dnes (チェコ), Helesingin Sanomat (フィンランド), HRT, Vjesnik,
ノビリスト、ホロウニードネウニク、ユータルニ リスト (クロアチア),
Neue Zurcher (スイス)、Rzeczpospolita (ポーランド)等



4. 成功した国際コミュニケーション

3. アメリカ大陸:

(米国) Washington post, The Newyork Times, Boston Globe, San Francisco Chronicle
CNN, CTV , The Exporess-times Leisure Today、

(カナダ) National Post、The Province

(その他) Televisa, TV Azteca (メキシコ), La Republica (コスタリカ) エルユニベルサル,
ウルティマス ノティシアス, エルムンド、エルナショナル(ベネズエラ)等

4. アフリカ:

Sudan Vision (スーダン), Kenya Press (ケニア), L'Express, Midi,
MIDI madagasikara ,Les Nouvelles,La Gazette,Le le Quotidien (マダガスカル)



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

1958年のブリュッセル万博が最後となっていた褒賞制度がEXPO2005において、ほぼ半世紀ぶりに復活。

・審査委員は、建築、文化、歴史等の専門家。

呉建民 博覧会国際事務局(BIE)議長
ビセンテ・ゴンザレス・ロセルタレス BIE事務局長
オーレ・フィリプソン 国際諮問委員会委員長
近藤次郎 東京大学名誉教授、愛・地球賞審査委員長
彦坂裕 建築家・環境デザイナー、日本館クリエイティブ総括ディレクター
ラシード・スリミ ONAグループ総務・企業関連ディレクター、ONA基金会長、世界銀行顧問
マーティン・ロス プロシア文化遺産財団顧問委員、ドレスデン大学文化政策・文化マネジメント学部教授
アルベルト・レンツ 建築家・芸術家、前メキシコ大統領顧問
ロバート・W・ライデル モンタナ州立大学歴史学・哲学科教授

1回目の賞は自然の叡智の具現化に向けた外観、内装が審査の対象(5/21～5/26)

2回目の賞はメッセージ性が審査の対象(9/15～9/19)



5. 褒章の復活：自然の叡智賞



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第1回)4モジュール以上での金賞は韓国館、銀賞はスペイン館、銅賞はイギリス館



Gold Prize
KOREA:
Global Common 1



Silver Prize
Spain:
Global Common 3

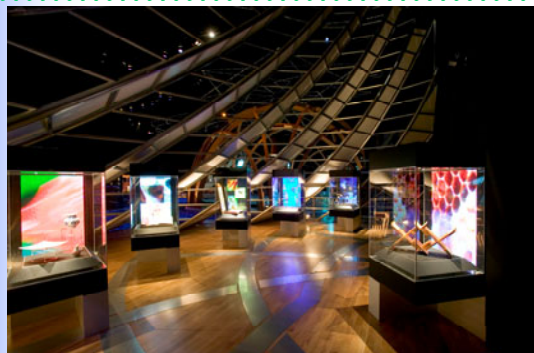


Bronze Prize
the United Kingdom
of Great Britain and
Northern Ireland:
Global Common 4



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

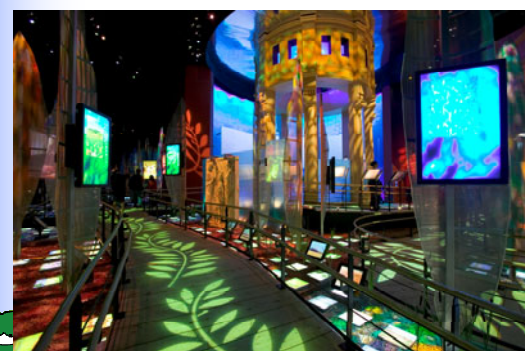
(第1回)1. 5～3モジュールでの金賞はトルコ館、銀賞はメキシコ館、銅賞はギリシャ館



Gold Prize
Turkey:
Global Common 3



Silver Prize
Mexico:
Global Common 2



Bronze Prize
Greece:
Global Common 4



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第1回)1モジュール以下での金賞はフィリピン館、銀賞はモロッコ館、銅賞はニュージーランド館



Gold Prize
Philippines:
Global Common 6



Silver Prize
Morocco:
Global Common 3



Bronze Prize
New Zealand :
Global Common 6



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第1回)共同館での金賞はベネズエラ・ボリバル共和国(アンデス共同館)、

銀賞はケニア共和国(アフリカ共同館)、銅賞はウズベキスタン共和国(中央アジア共同館)



Gold Prize

Bolivarian Republic of Venezuela:
Andean Amazonian Pavilion
Global Common 2



Silver Prize

Republic of Kenya; Africa Pavilion
Global Common 5



Bronze Prize

Republic of Uzbekistan;
Central Asia Pavilion
Global Common 1



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第2回)4モジュール以上での金賞はドイツ館、銀賞はフランス館、銅賞はアメリカ館



Gold Prize
Germany:
Global Common 3



Silver Prize
France:
Global Common 3



Bronze Prize
the United States of
America:
Global Common 2



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第2回)1. 5～3モジュールでの金賞はメキシコ館、銀賞はオーストラリア館、銅賞はマレーシア館



Gold Prize
Mexico:
Global Common 2



Silver Prize
Australia:
Global Common 6



Bronze Prize
Malaysia:
Global Common 6

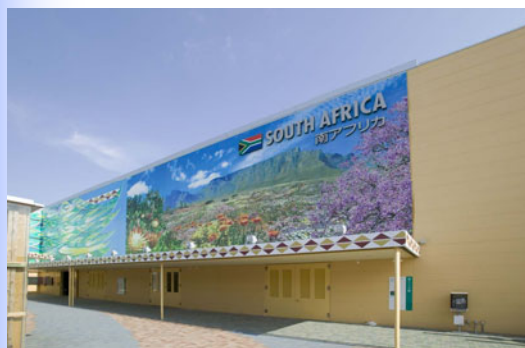


5. 褒章の復活：自然の叡智賞

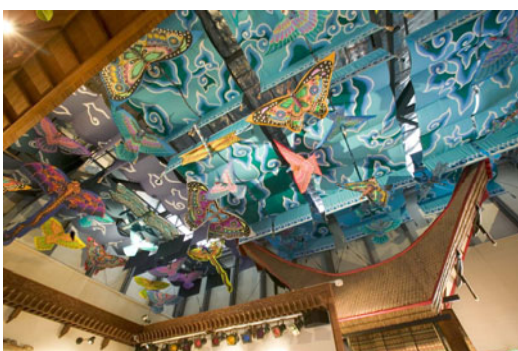
(第2回)1モジュール以下での金賞はオランダ館、銀賞は南アフリカ館、銅賞はインドネシア館



Gold Prize
Netherlands:
Global Common 4



Silver Prize
South Africa:
Global Common 5



Bronze Prize
Indonesia:
Global Common 6



5. 褒章の復活：自然の叡智賞

(第1回)共同館での金賞はアンデス共同館、銀賞はマダガスカル共和国(アフリカ共同館)、銅賞はケニア共和国(アフリカ共同館)



Gold Prize

Andean Amazonian Pavilion
Global Common 2



Silver Prize

Republic of Madagascar;
Africa Pavilion
Global Common 5



Bronze Prize

Republic of Kenya; Africa Pavilion
Global Common 5

6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【3月オープニングフォーラム:「地球とともに生きる」】

開催日時:第1日目 3月27日(日)

会場:名古屋国際会議場レセプションホール

開会・主催者挨拶:坂本 春生(2005年日本国際博覧会協会副会長)

ヴィセンテ・ロセルタレス(博覧会国際事務局BIE事務局長)

基調講演:木村 尚三郎 (2005年日本国際博覧会総合プロデューサー)

鼎談:文化・環境・開発の相互の関係およびバランスの取れた発展の可能性について

出席者: ドナルド・J・ジョンストン(OECD事務総長/カナダ)

レスター・ブラウン(アースポリシー研究所所長/アメリカ)

小倉 和夫(独立行政法人国際交流基金理事長/日本)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【3月オープニングフォーラム:「地球とともに生きる」】

開催日時:第2日目 3月28日(月)

会場:EXPOドーム(愛・地球博 長久手会場内)

パネルディスカッション:持続可能な社会を創造するための課題について

パネリスト:ワンガリ・マータイ(ケニア環境副大臣、ノーベル平和賞受賞者/ケニア)

グロ・ハーレム・ブルトラント(元ノルウェー首相、前WHO事務局長/ノルウェー)

ドナルド・J・ジョンストン(OECD事務総長/カナダ)

レスター・ブラウン(アースポリシー研究所所長/アメリカ)

山本 一元(旭化成株式会社常任相談役、社団法人日本経済団体連合会 環境安全委員会
共同委員長/日本)

コーディネーター:今井 義典(NHK解説委員長)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【4月テーマフォーラム:「文化・生物の多様性と国際レベルの共通認識づくり」】

開催日時:4月16日(土)
会場:愛知県立大学 講堂

基調講演:ジャコモ・モヨーリ(国際スローフード協会理事、スローフードジャパン名誉会長/イタリア)

パネルディスカッション:文化・生物の多様性と国際レベルの共通認識づくり

パネリスト:阿部 健一(国立民族学博物館地域研究企画交流センター助教授/日本)

サンドラ・モリソン(ワイカト大学マオリ・太平洋諸島発展研究所マオリ文化学科長/ニュージーランド)

ピーター・クレイン(英国キュー王立植物園園長/イギリス)

四方 哲也(大阪大学大学院情報科学研究科助教授/日本)

ジャコモ・モヨーリ

コーディネーター:竹村 真一(京都造形芸術大学教授/日本)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【5月テーマフォーラム:「環境本位型社会を目指して—21世紀の科学のあり方」】

開催日時:5月21日(土)

会場:名古屋大学 豊田講堂

基調講演:ポール・エーリック(スタンフォード大学生物科学部人口学教授/アメリカ)

パネルディスカッション:21世紀型科学が持続可能な社会を実現する

パネリスト:カトリーヌ・ド・シルギー(環境農学者・愛知万博国際諮問委員/フランス)

上出 洋介(名古屋大学太陽地球環境研究所教授/日本)

養老 孟司(解剖学者・東京大学名誉教授/日本)

ポール・エーリック

コーディネーター:高橋 真理子(朝日新聞科学医療部次長/日本)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【6月テーマフォーラム:「21世紀の産業基盤―循環型社会へのメッセージ」】

開催日時:6月2日(木)

会場:名古屋大学 経済学部カンファレンスホール

基調講演:ホセ・ゴールデンバーグ(元ブラジル環境相、現サンパウロ州環境局局長/ブラジル)

講演:池淵 浩介(環境パートナーシップ・CLUB会長、トヨタ自動車株式会社代表取締役副会長/日本)

大鶴 英嗣(松下電器産業株式会社常務取締役/日本)

パネルディスカッション:21世紀の産業基盤―企業は今、何をめざすのか

パネリスト:福川 伸次(愛・地球博グローバル・ハウス館長、株式会社電通顧問/日本)

平野 真一(名古屋大学総長/日本)

ホセ・ゴールデンバーグ

コーディネーター:茅 陽一(財団法人地球環境産業技術研究機構副理事長/日本)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【7月テーマフォーラム:「持続可能な社会を実現する環境教育」】

開催日時:7月23日(土)

会場:金城学院大学 ランドルフ記念講堂

記念講演:シーラ・シスル(WFP国連世界食糧計画事務局次長/南アフリカ)

基調講演:デニス・L・メドウズ(インタラクティブ・ラーニング研究所所長/アメリカ)

パネルディスカッション:真の変化をもたらすために行動する人を育てる環境教育に求められるもの

事例発表:愛・地球博における環境教育の取り組み事例

中野 民夫(社団法人日本環境教育フォーラム理事/日本)

パネリスト:阿部 治(立教大学教授、ESD-J代表理事/日本)

ヴィム・A・ハフカンブ(エラスムス大学ロッテルダム教授/オランダ)

チャオ・シンドン(国家環境保護総局宣伝教育センター員/中国)

デニス・L・メドウズ

コーディネーター:枝廣 淳子(環境ジャーナリスト/日本)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【8月テーマフォーラム:「環境と調和のとれた経済・産業発展のあり方」】

開催日時:8月27日(土)

会場:名古屋国際会議場 レセプションホール

セッション1:革新的技術の開発普及の促進

茅 陽一(財団法人地球環境産業技術研究機構副理事長)

ナボーシャ・ナキシノビッチ(国際応用システム研究所(IIASA))

ロバート・ディクソン(米国大統領府環境評議会)

ピーター・J・G・ピアソン(英国インペリアル・カレッジ)

セッション2:発展途上国への技術移転の促進

小谷勝彦(新日本製鐵株式会社 中国総代表・北京事務所長)

杉山大志(財団法人電力中央研究所(CRIEPI)主任研究員)

周 大地(中国国家発展改革委員会能源研究所所長)

アジェイ・マトウル(インド・セナジー・グローバル社社長)

セッション3:総括ー環境と経済の両立に向けて

森脇昭夫(財団法人地球環境戦略研究機構(IGES)理事長)

ドロジャツン・ジャクティ(インドネシア前経済担当調整大臣・インドネシア大学教授)

モデレーター:山口光恒(帝京大学経済学部教授)



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

万博史上初の連続国際シンポジウム「愛・地球会議」

【9月クロージングフォーラム：「地球とともに生きる」】

開催日時：9月21日（水）

会場：愛・地球博 EXPOドーム

タイトル：地球とともに生きる・・持続可能な社会の創造をめざして

参加者： 学生

留学生（アメリカ、オーストラリア、中国、メキシコ、モロッコ、ロシア、スイス）
と日本人学生の計9名の学生

中国・北京とオランダ・アムステルダム of 学生
愛知県下の大学から100人の学生

大人のアドバイザー & コメンテーター

マリウス・イオアン・ピソ（ルーマニア宇宙公団社長兼最高執務責任者）

竹下景子（女優 日本館館長）

木村尚三郎（愛・地球博総合プロデューサー）

泉 真也（愛・地球博総合プロデューサー）

菊竹清訓（愛・地球博総合プロデューサー）



6. 愛・地球博メッセージ・シンポジウム

関連する国際会議

■4月3日国際会議「貿易と貧困に関するフォーラム」(名古屋市内)

■5月15日ノーベル受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」万博セッション(EXPOホール)

■7月9日地球平和フォーラム愛知(EXPOホール)

■7月19日ECOMOVEセンス・オブ・ワンダー世界環境映像フェスティバル(愛・地球博会場)

■7月26日～29日こども環境サミット2005(豊橋市、豊田市、愛・地球博会場)

・・・など

